

令和6年度

介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月18日～11月25日

（公財）介護労働安定センター

福島支部

2024

修了式



Congratulations



修了者へ贈ることば

令和6年度の介護労働講習の修了、誠におめでとうございます。

講師の先生方、福島支部の職員一同、心よりお慶び申し上げます

6月18日の開講式の日、およそ半年間ほぼ毎日という長い講習、介護についてほとんど知らず、周りを見れば20歳台から60歳台と年代はバラバラ、不安いっぱいでのスタートだったと思います。しかし振り返るとあっという間だったのではないかでしょうか。

レポート課題をこなし、演習を繰り返し、評価試験を合格して修了式を迎えた。これまでの経験や世代の違いなど関係なく、教え・教わり、励まし・励まされ、仲間と一緒に過ごした充実の時間だったと思います。この講習において、介護の知識や技術はもちろん、仲間との連携、介護職として人と接する心など多くのことを学ばれたと思います。

「健康第一」、「笑顔であいさつ」、「感謝の言葉」。それぞれの介護のステージにおいて、学んだことを活かし、さらに学び、ご活躍されますことを祈念しております。

福島支部職員一同

講習風景

本講習では、介護職に必要な対人援助の基本的な視点と理念、介護の基本的な知識・技術から更には専門的な職業人に必要な実践力の修得とともに、介護福祉士受験資格要件の一つである実務者研修修了の資格を得ることができます。

講 義



開講式





介護保険制度の体系や目的、利用者の尊厳の保持・自立支援、介護職としての役割や倫理などの基礎から学び、学んだ知識・技術を活用し、さまざまな状況に対応できる思考力・実践力を身につけます。

介護現場で必要な知識や技術について講義・演習を通して体系的に学習します。



医療的ケア



上段：緊張の試験…。

下段：そして全員合格後のホッとした笑顔！ ※写真撮影のためにマスクをこの時のみ、外しています

医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を学びます。

生活支援技術Ⅱ



ボディメカニクスの基本原理、それを活用した介助方法などについて学びます。

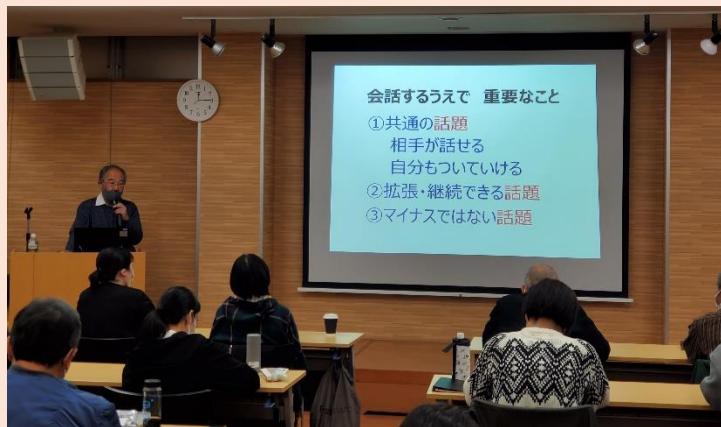
就職支援



カリキュラムの中には、施設見学や就職面談会、修了生講話などの就職支援の時間もあります。介護職が実際に働いている現場を見学したり、働いている方からの講話を聞いて、修了後のスムーズな就職へ繋げます。経験豊富な職員が一人ひとりに合わせた支援を行います。



補足講習



就職に向けて介護技術について学習した内容等を復習し、技術の向上・定着を図ります。



レクリエーション技術



福祉におけるレクリエーションに特化し、実践に役立つ技術を学びます。

講習を終えて

今年多くの受講者が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

ここで久しぶりに本気で勉強ができ、新たに次のステップに進もうと意欲が湧きました。介護福祉士を目指して頑張ります。挫けそうになりましたらご連絡をするかもしれませんので、その時は又叱咤激励を宜しくお願い致します。半年間本当にありがとうございました！
(50代/男性)

講習が始まったころは、年齢の離れた方と話すのはとても苦手で緊張していましたが、みんな優しい方ばかりで、話しかけてくれていたので嬉しく、徐々に講習に行くのが楽しくなっていました。

また、交流を深めていくうちに年齢差のある方達相手にここまで話せるようになったんだと自分に自信がつきました。

(20代/男性)

新しいことを学ぶのはたいへんなこともありましたが、介護現場のこと、知識、心構えを学ぶことができて良かったです。

(20代/女性)

60歳となり介護の世界に進みたいと考えたときにこの講習を知りました。ここで出会ったみんなとこれからも励まし合いながら、自己を高めていきたいと思います。
(60代/男性)

あっという間の6か月で、自宅でも久しぶりに勉強するくらい盛りだくさんの講義でした。自分の知らないこと也有って、常に新鮮な気持ちで学ぶことができました。実習を通して利用者の方々と触れ合うことができて楽しかったです。仲間にも恵まれ、本当に感謝しています。

(40代/女性)

就職先を訪ねて

令和5年度修了者 本田さん



介護労働講習で学んだことは？

介護におけるコミュニケーションや認知症の人との関わり方など、自分のベースとなる介護観を学ぶことができました。講習を受けていなければ個人の「尊厳」など考えなかったかもしれません。

実際に介護の仕事に就かれた感想は？

楽しさも大変さも想像以上でした。忙しい日々ですが、それ以上に利用者様のおかげで、毎日笑顔で過ごしています。技術不足を痛感することも多いですが、利用者様も自分も快適に過ごせるよう、レベルアップ目指します。

講習内容などについての感想は？

着脱や車椅子介助などを行う生活支援技術の科目では、実際に体験することで、介護される側の気持ちに触れる事ができました。また講師の方々からお聞きする生の話が魅力的でした。

これから受講される方へメッセージをお願いします

約半年間の通学や講習など、不安もあるかもしれません、それに勝る良い経験・知識・資格・同期の仲間など、価値のあるものが得られると思います。ぜひチャレンジしてみてください！



事業主様から一言 特別養護老人ホームみほた

普段の仕事ぶりはいかがですか？（介護副主任 松井香保里様）

初めは介護未経験という事もあり、不安もあったと思いますが、分からぬ事は積極的に先輩職員に聞きながら業務に取り組んでいました。今では持ち前の明るさを発揮しながら利用者様と会話されており、今後の成長にも期待しています。

これから受講される方へメッセージをお願いします（介護主任 竹山文様）

利用者様がその人らしく、尊重された生活を送る為には知識・技術が必要になります。また、他職種と関わる事も多く連携も重要になります。受講者同士コミュニケーションを大切にしながら講義や実習を通してほしいと思います。

